

山本 芳秀 議員



問 特産品開発について

答 特産品としてのポテンシャルを秘めた町の農産物をピックアップし各種団体とも連携をとり自慢できる特産品開発を進めていく

地域経済活性化と地域のPRという大きな目的のもと、特産品開発が全国各地で行われているが。

問 コロナ禍の中、停滞感があると思われるが、五霞町の現状は。

産業課長 五霞町には特産品としてすぐに思い浮かぶものがないのが現状です。そこで、今年度から知名度、集客力と

もに町で一番の道の駅ごかを拠点に、地域資源の掘り起こしや新たな商品開発を目的として、(株)五霞まちづくり交流センター内に新たな部門「ごかみらいLab(ラボ)」を設置したところ。農産物を使ったまちづくり、ふるさと納税への商品展開等、二つを柱として事業展開していきます。



五霞町産八つ頭と他地域の八つ頭との差別化を図るため、五霞町商工会が「五霞いも」として特許庁に商標登録したロゴマーク

問 子育て支援について

答 小学校統合を町発展の一つの契機として、跡地有効利用と統合後の子育て支援の充実に向け取り組む

少子化・人口減少社会の中、その課題克服に向けスピード感ある行政運営が求められるが。

問 町立小学校の統合に向け東小学校の跡地有効利用構想は。

都市建設課長 多様な土地利用ができるよう協議を進め、町の活性化等に貢献できる場となるよう検討していきます。

問 地産地消の観点から学校給食の自校給食への移行はあ

教育次長 昨年10月、五霞町立学校のあり方検討会具申書においても自校給食を検討するよう要望が出ています。財政面等を考慮し、様々な方法を含めて更なる検討が必要と考えています。

問 下校時におけるスクールガードの協力者が少ないようだが、その対策は。

教育次長 区長会議等で活動内容を改めて周知し、下校時の更なる充実等、地域全体で子供たちを見守っていきたくと考えています。

問 児童館及び放課後児童クラブの運営状況は。

健康福祉課長 児童館については、午前中は就園前の乳幼児と保護者を対象に、午後からは学童向けの行事を行っております。また、放課後児童クラブは町内2つの認定こども園で月曜日から土曜日まで実施しています。今後は、児童館と放課後児童クラブの役割を考慮し、利用者のニーズにより児童館の開館時間の見直しや放課後児童クラブの高学年受け入れについても検討していきます。